

- 〔1〕 工事概要
- 1. 工 事 名 高山祭屋台防災施設（宝珠台屋台蔵）修理工事 （二期工事）
 - 2. 場 所 下三之町町 地内
 - 3. 構 造 土蔵造平屋建
 - 4. 規 模 1階 内 20.01 m² （外）
 - 5. 工 事 範 囲

NO	工 事 部 分	面積,数量等
1	正面 土蔵外壁漆喰塗修理工事（平、小口）	21.76m ²
2	土蔵大扉外平壁、小口漆喰塗修理工事	21.91m ²
3	内壁漆喰塗修理工事	20.00m ²
4	大扉受両側実柱の柱脚補強	1箇所
5	防火壁修理 小扉及び上壁	1面

- 〔2〕 一般事項
- 1. 総 則 この特記仕様書は、工事の作業基準を示すもので、記載なき部分、及び疑問を生じたる場合は、全て係員と協議の上施工する。
（係員とは、高山市文化財課担当者、及び工事監理者を言う）
図面、特記仕様書に記載されている事項以外は、国交省大臣官房営繕部監修の建築工事共通仕様書最新版による
 - 2. 工 事 方 針 本建物の修理工事に当っては、本建物の原完成時の形態に準じて施工する事を原則とし、既存部分の寸法、材質、施工方法は、忠実に旧来の当建物に倣うものとする。
指定文化財の修理は、工法、材料等在来に倣う所が多く、在来部分の寸法、工法、材料継手、仕口等の工法の調査は、係員に全面協力する事。
 - 3. 使 用 材 料 本工事に使用する材料は、全て係員の承認を得て使用する。特に木材については充分なる乾燥材を使用する。又、木材の程度（等級）については、既建物の同位置に使われているものを参考に決定する。
 - 4. 施 工 図 等 解体時に於ては、必要に応じ、修理部分を事前に実測し、実測図を作成し検討をする。
又、設計図と異なる施工を必要とする部分については、その部分の施工図を作成し、係員の承認を得て施工する。
又、解体時の写真、施工途中の工事写真は整理の上係員に提出する。
 - 5. 安 全 対 策 工事施工にあたり、現場周辺も含め、人的物的被害を及ぼす事の無い様に仮設、養生も含め、充分なる対策を行う。
又、火災保険等を含む建設関係保険は必ず設定する。

- 〔3〕 仮設工事
- 1. 適 用 修理工事に於ては必要に応じて各種の仮設を行う。
なお、隣家、及び付近の家、住人に迷惑を掛けない様に必要あれば話し合いの上施工する。

道路占有などの届け出について速やかに行うこと。
なお、シート、仮囲い等の色についてはなるべく目立たないものを使用する。
 - 2. 仮 設 工（仮 囲）シート貼 板貼 合板貼 鉄板貼 ガードフェンス
H＝ 2 m

（仮 小 屋） 丸太組シート貼 丸太トタン貼

（現場事務所） プレハブ製 建物内事務所

（下 小 屋） 丸太トタン貼 建物内

（外 部 足 場）鋼製枠組 丸太組 単管組 脚立
（シート貼 有 無 ）

（内 部 足 場） 脚立 鋼製枠組 丸太抱足場 ローリング

（材 料 保 管） 屋外仮小屋 野外 屋内指定場所

（養 生） 当て板 シート掛 その他（ ）

（設 備） 給排水管 水栓等移設 電気及び電話線の移動 盛替

仮設施工に当り、工事全体の安全を考え、危険防止、及び保健上、防火上必要なる安全対策を行うこと。

- 〔4〕 解体工事
- 1. 工 法 解体にあたり、既存、ほかの部分に影響を与えることのなき様、ていねいにとり扱うこと。
解体した材料のうち、修理工事に必要なるものは係員の指示により保管する。特に、再使用材については記号を付け、実測、写真撮影し、適当な養生をしたあと屋内に保管する。
再使用材以外のもののうち、旧来の工法が長く判り、別途保存が必要なものについては、係員の指示により屋内に保管する。
木材・トタン・土等の解体材は高山市の条例に従って処分する。

- 〔5〕 木 工 事
- 1. 材 料 取替材、新補材については原則として、内地材にて旧来と同種類、同等材とし、旧形、旧工法を踏習する事とし、使用個所により心持材、心去材の区分をし使用する。
 - 2. 寸 法 設計図書に記入の寸法は、仕上寸法とする。

又、記入寸法は同一部所（柱、梁等）の実寸による事も多く、接続部によっては材の収縮等も考えて、既存寸法より少し大きく採寸し使用する。

令和 8 年度	注一該当する部分は○印、また、材種材厚等は角囲みとする。				
高山祭屋台防災施設（宝珠台屋台蔵）修理工事	特記仕様書（1）	（縮尺）	一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第6923号 協同組合 飛騨設計センター 高山市上三之町29番地 管理建築士 大野二郎	（担当）	宝珠台 1 仕様

No.	使用部分	寸法	材 種				等 級						備 考
			桧	杉	姫子松	その他	無節	極上小	上小	小節	1等	2等	
1	入 口 枠	120×60	○							○			既存合わせ加工
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													

〔6〕 屋 根 工 事

1. 真木有瓦葺き

材 料 J I S 製品を使用する。
〔材 種〕 カ-鉄板 耐摩カ-鉄板 その他（ ）
〔材 厚〕 0.35mm 0.40mm 0.50mm
葺材寸法
〔平葺部分〕 910×910 910×1820 その他（ ）
〔瓦葺部分〕 L＝2,000以内 3,600以内
真木間隔は910間隔、または606間隔とする。
鈎子は、板1枚につき上下とも2枚以上とする。
防水紙は、アスファルトフイグ® 22k g/品巻き製品を用い、重ね張りとし、真木部分は更に1枚で覆う。
はぜ部分は、一般にはコハゼ掛けとし、特記ある場合はマキハゼ掛けとする。瓦葺軒端は前包みをなし、棟では面戸板にて目切り上に箱棟、又は泥障板を置いて包板で包む。但し、防水材については特記の場合もある。

令和 8 年度

注－該当する部分は○印、また、材種材厚等は角囲みとする。

高山祭屋台防災施設（宝珠台屋台蔵）修理工事

特記仕様書（2）

（縮尺）

一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第6923号
協同組合 飛騨設計センター
高山市上三之町29番地 管理建築士 大野二郎

（担当）

宝珠台
2 仕様

2. くれ葺き 屋根小舞の上に横方向は四枚目踏み、縦方向は六分の一葺足（約135）にて下より葺き上がる。大屋根の棟部分は更に押さえくれ5枚重ねに鉄板くれ2枚かさね、更に長くれ2枚を置き、置石とする。
なお、下屋部分は、上部妻屋根下で更に5枚重ね、置き石とする。

〔材 種〕 栗へぎ材
〔材 厚〕 5～9mm
〔材 巾〕 120～180
〔材 長〕 720～800

3. 屋根断熱 野地板の上には、断熱材として下記のを重ね使用する。この場合、隙間が生じないように、丁寧に貼る。

〔断 熱 材〕 グラスウール板 厚10mm 厚15mm 厚20mm
木毛セメント板 厚20mm 厚25mm 厚30mm

4. 日本瓦葺 材料はJ I S製品を使用する。（一等品）

〔形 状〕 五三板 六四板
〔種 類〕 引掛棧瓦葺 本瓦葺 その他（ ）

役物の鬼瓦、棟各種瓦、降棟、隅瓦、軒先瓦、袖瓦等は旧来の形に倣うのを原則とする。但し、旧来の材料が構造的に弱い場合は、係員と協議の上、耐寒性の有る瓦材料にても可能とする。

平葺部分は、けらば軒から3枚通りを1枚毎に銅線（＃18）針にて下地に留め付け、鬼瓦、棟ついてはずれを生じないように、特に入念に施工する。又、慰斗部分、棟部分、腰部分は特記により裏込め漆喰塗込とする。

下地は、アスファルトフイグ® 22k g/品巻き製品2枚重ね張りとする。

なお、瓦材は下部タテ通し、上部ヨコ通しとする。

〔瓦 種 類〕 陶器瓦 耐寒いぶし瓦 その他

〔7〕 板 金 工 事

○ 1. 樋 軒樋、縦樋共、形状寸法については図示による。特記なき場合、係員の指示により既製寸法の品物にても可とする。

〔材 料〕 カ-鉄板 亜鉛引きトタン板 銅板 耐摩カ-鉄板 銅板
〔材 厚〕 0.3 0.35 0.4 0.5 2.3

軒樋受金物は既製品を除き、F B-30～45mm×厚2.3mm、3.2mm、4.5mmのものを樋寸法に応じて加工する。又、縦樋受金物も径に応じてF Bを加工し、塗装は合成樹脂塗装とする。

アンコウは旧来寸法、又は指示寸法による。又、箱樋は200×200を標準とする。

2. 壁 張 り 指示ある箇所は着色波鉄板張りとする。

〔材 料〕 角波カ-鉄板 厚0.3mm 厚0.25mm
耐摩カ-鉄板 厚0.35mm 厚0.40mm
銅板 厚0.40mm 厚0.50mm

3. 塗装 塗り替え部分は、水洗い、汚れ落としをし、錆止め塗装の語、シリコンルーフ塗装2回塗とする。

[8] 左 官 工 事

- 1. 種類 当工事真壁造左官壁の種類は下記のとおりとする。
- | 種類 | 土壁 | 黄（鼠）大津壁 | 漆喰壁 | ジュラク壁 | 色モルタル壁 |
|---------|---|---------|-----|-------|--------|
| ① 下 塗 | 粘土に藁すきを混入したものを小舞下地に塗り、貫と平坦に壁付する。これに用いられる材料は、普通川底の粘土や粘土、又荒木田とする。すきは打藁5cm位とする。乾燥後、同一土にて裏返しをなし、凸凹直しのためむら直しを行う。 | | | | |
| ② 中 塗 | 粘土、及び砂を4対6の割合に揉すきを適量に混ぜた土で、貫面より9mm厚に平らに塗布する。又、貫伏と称し、寒冷沙を貫と土の間に塗り込む。又、細クシにてこした「ノロ」を生湯き時に撫で上げる。すきは麻すき、さらしすき。 | | | | |
| ③ 上 塗 | 仕上げを意味し、上塗りに用いる材料によって、大津壁、漆喰土物壁等の種類に分かれる。 | | | | |
| ④ 大 津 壁 | 海苔を用いず、石灰に粘土、及びすきを混ねりしたもので、粘土の色により各種の名称がある。
例 黄大津、茶大津、鼠大津 | | | | |
- 3. 漆 喰 壁 石灰、又は貝灰に海苔（角又類）及びすきを混合練したものを漆喰という。
- 下地組は大津壁、土物壁も同一であるが、木摺、及びすぐり芽材を小舞縄（細縄）にて組み、荒壁から塗り付ける。
漆喰塗調合については、旧来の調合による。
又、諸材料は角又4.7kgに対して、水、約115リットルを用いて充分煮沸溶解し、3厘目櫛にて濾過し、溶液の熱い間にすきを混合し、この溶液をもって砂類及び灰類を練にて充分混和する。
壁色の仕上は、灰墨、群青、酸化黄、黄土、紅柄、など係員の指示による。
4. リシン吹付 既存材刷毛落し素地調整の上外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上
- [種類] アクリル系リシン
5. 下地ボード 下地ボードは、ラスボード、シージングボード+ラス、木摺+防水紙+ラス等とする。
- [9] 土間漆喰叩き工事 （土入りセメント強化床） 転圧を充分行う
1. 材 料 下 層 - 細かい採石+三和土
- | 上 層 | 骨材 | 三和土 | 60% | 砂20% | にがり |
|-------------|----------|---------|--------|------|-----|
| 普通セメント20% | 水 | 適量 | | | |
| 顔料（全体の割合2%） | 黄色 1 3 0 | ：+ 緑色22 | ： 茶色15 | 無し | |

2. 工 法 砂、セメントを空練り状態に混合し、乾燥した赤土を混ぜる。色や堅さの状態を見ながら、水を加え、充分に混ぜあわせる。色合いによっては、適当に顔料を加える。練り上がった材料を均一に塗り水締めをしながら3層程度塗たく、更に表面の状態を見ながら2回～3回水締めたたく。
- 下 層 既存漆喰床を削り底部分を平滑にし、採石と赤土及びセメントを加えた物を厚70程度式たこにて展圧する。
- 4 養生 養生は表面を少し湿らせた状態で、むしろを敷く。状況に応じて、水を撒く。

[10] 塗 装 工 事

- 1 キシラモン塗 主に、床下部分など木材の腐朽防止部分に使用する。
- 2 キシラディコール塗 2色、又はそれ以上の色を混合にて使用する。
- 3 紅 柄
- ① 材料、工法
- | 紅 柄 | 色 | 松煙 | 又は黒色細粒粉使用。 |
|--|---|----|------------|
| 上記の2種類、又はそれ以上のものを混合練り合わせ、水（又は酢酸）にて溶き、適当なる濃さで、木材に布で塗布し拭き取る。 | | | |
- ② 仕 上 充分乾燥した後、えの油にて布付け拭きを行う。全体の色合いによっては、油拭き前に再度紅柄塗りをして合わせる。

[11] 石 工 事

- 1 基礎石、通路石修理
- ① 材料 御影石 固い石 ・石材長 2M以下
- ② 仕上 既存敷石の車道部分角を削り加工する
削り部分は縦×横は30mm×30mm程度

○ [11] 鍛 冶 工 事

- 1 柱脚支持 屋台蔵大扉受材の木製160角の柱脚の腐朽により、金属製の柱脚を取りつけ支持補強をする。
- [加工図] 設計図を元に柱脚切断部の実測を行い、鉄厚板、支持器具、取付ボルトを選定
- [材料] ジャッキ スクリュージャッキ（耐力100トン）1台
ジャッキ スクリュージャッキ（耐力60トン）1台
- [基礎接合] pl 12×500×200 基礎石にボルト接合
接合ボルト M16 ベース掘り込みボルト M12×4
- [柱繫接合] 柱脚型はPL 16×600×200により縦接合をする。
- 2 煽止金物 両大扉下框部分に扉開きの際、自然戻り防止の為取付。
- [材料] 土間床まで落とし込み、土間床部分で止め金物設置。

令和 8 年度	注一該当する部分は○印、また、材種材厚等は角囲みとする。			
高山祭屋台防災施設（宝珠台屋台蔵）修理工事	特記仕様書（3）	（縮尺）	一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第6923号 協同組合 飛騨設計センター 高山市上三之町29番地 管理建築士 大野二郎	（担当） 宝珠台 3 仕様

- [12] 完全週休 2 日制（土日）工事の実施
本工事は、完全週休 2 日を原則とした完全週休 2 日制（土日）工事（現場閉所）である。
詳細は「高山市発注の建設工事に係る完全週休 2 日制（土日）工事実施要領」を参照すること。

令和 8 年度	注－該当する部分は○印、また、材種材厚等は角囲みとする。			
高山祭屋台防災施設（宝珠台屋台蔵）修理工事	特記仕様書（4）	（縮尺）	一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第6923号 協同組合 飛騨設計センター 高山市上三之町29番地	（担当） 宝珠台 4 仕様